



日本学術会議 国際光デー記念シンポジウム



～光が拓く科学技術の最前線～

主催 日本学術会議総合工学委員会ICO分科会 共催:国際光年協議会

後援 公益社団法人応用物理学会、一般社団法人日本光学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人レーザー学会、公益社団法人日本分光学会

2016年、ユネスコは国際光デーを宣言し、日本学術会議ではこれを記念するシンポジウムをICO分科会の主催で継続して開催してきました。本年も同シンポジウムを開催し、光科学技術がもたらす未来社会や、科学と社会への分野横断的な貢献を展望するとともに、分野の次代を担う新進気鋭の若手研究者間の交流を推進します。

※ICO(International Commission for Optics:国際光学委員会)は、ISC(International Science Council:国際学術会議)のRegular Memberとして、光の科学と技術の発展に向けて活動する国際科学連合です。

日時 令和8年(2026年)7月3日(金) 13:00~17:40

場所 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34 千代田線乃木坂駅5番出口)

プログラム

(11:00 ポスター受付・展示開始)

(12:00 一般受付開始)

13:00-16:00

司会 馬場 俊彦 (横浜国立大学教授)

開会挨拶:

荒川 泰彦 (ICO 分科会委員長、東京大学特任教授)

講演1: AIを支える計算基盤と光技術の未来

岡野原 大輔 ((株)Preferred Networks 代表取締役社長)

講演2: フュージョンエネルギーと光

藤岡 慎介 (大阪大学教授)

休憩

司会 美濃島 薫 (国際ICO 副会長、電気通信大学教授)

講演3: 光科学による医療の新展開

小川 美香子 (北海道大学教授)

講演4: 電波天文観測で迫る宇宙と生命の起源と光の技術

井口 聖 (国立天文台教授)

閉会挨拶

松尾 由賀利 (法政大学理事副学長・教授)

16:00 全国の80を超えるグループの若手研究者によるポスター発表

17:40 閉会

一般参加 可(参加費無料)

定員300名、参加申込先着順。右記URLより申込: <https://forms.gle/DRGHf3okXwSiAzkz6>

問い合わせ先: 馬場 (baba-toshihiko-zm@ynu.ac.jp)

